

令和4年(2022年) 9月2日(金) 13955号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL : 06-6353-7831
 FAX : 06-6353-7832
 MAIL : metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB : https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は3万円引き下げの114万円

8月の確定建値平均は112万9,500円

JX金属は1日、電気銅建値を3万円引き下げの114万円にすると発表、同日より実施した。8月の確定建値平均は112万9,500円。1日に入電した直近のLME銅相場前場売値が7,721.00ドル。1日の東京市場の米ドルTTSレートは140.53円。この値で換算した採算価格は、108万5,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万5,000円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2022年

4月	1310(1)	1340(6)	1320(12)	1340(14)	1360(19)	1370(22)	
							平均1336.5
5月	1280(9)	1260(11)	1220(13)	1250(17)	1230(19)	1260(23)	
							平均1250.6
6月	1270(1)	1340(7)	1360(9)	1330(13)	1290(15)	1260(17)	
							平均1270.0
7月	1170(1)	1130(5)	1080(7)	1100(11)	1050(13)	1070(19)	
							平均1085.5
8月	1110(1)	1090(3)	1110(8)	1140(12)	1110(16)	1140(19)	
							平均1129.5
9月	1140(1)						平均1140.0



黄銅削粉買値は23円 引き下げの861円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は1日、黄銅削粉買値を23円引き下げの861円と発表した。
 今月1回目の改定。



亜鉛建値は1万2,000円引き下げ 54万7,000円

8月の確定建値平均は53万7,000円

三井金属鉱業は1日、電気亜鉛建値を1万2,000円引き下げの54万7,000円にすると発表、同日より実施した。8月の確定建値平均は53万7,000円。1日に入電した直近のLME亜鉛相場前場売値は3,540.00ドル。1日の東京市場の米ドルTTSレートは140.53円。この値で換算した採算価格は、49万7,400円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万9,600円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

4月	571(1)	592(6)	598(11)	628(14)	652(20)	625(25)	
							平均612.6
5月	571(9)	532(12)	517(17)	529(20)	532(26)		平均535.5
6月	562(1)	565(7)	562(10)	532(15)	526(20)		平均543.6
7月	484(1)	466(6)	484(11)	469(14)	472(20)		平均474.3
8月	508(1)	511(4)	532(9)	562(17)	544(22)	559(26)	
							平均537.0
9月	547(1)						平均547.0



鉛建値は3,000円引き下げ 33万6,000円

8月の確定建値平均は34万0,700円

三菱マテリアルは1日、電気鉛建値を3,000円引き下げの33万6,000円にすると発表、同日より実施した。8月の確定建値平均は34万0,700円。

1日に入電した直近のLME鉛相場前場売値は1,950.00ドル。1日の東京市場の米ドルTTSレートは140.53円。この値で換算した採算価格は、27万4,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは6万2,000円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

4月	357(1)	360(11)	375(19)	372(25)			平均364.5
5月	357(2)	339(11)	327(19)				平均337.1
6月	342(1)	357(8)	336(16)				平均343.1
7月	324(1)	333(8)	330(14)	336(25)			平均330.6
8月	336(1)	345(8)	339(24)				平均340.7
9月	336(1)						平均336.0



錫建値は100円引き下げ

4,700円

8月確定建値平均は4,800円

三菱マテリアルは1日、高純度錫地金(99.99%=フォーナイン)の相対価格を100円引き下げの4,700円にすると発表、同日より適用した。8月の確定平均価格は4,800円。直近6か月の価格推移は次の通り。(円/キロ、カッコ内は平均)

2022年

4月…6,800(1) 7,000(7) 6,900(25)	平均6,940.0
5月…6,700(2) 6,400(10) 5,900(16)	平均6,130.0
6月…5,900(1) 6,300(8) 6,000(14) 5,800(20) 5,200(24)	平均5,810.0

7月…5,100(1) 4,900(14)	平均4,990.0
8月…4,800(1)	平均4,800.0
9月…4,700(1)	平均4,700.0



インジウムの9月建値は

大口が据え置き4万1,000円

小口も据え置き4万3,000円

DOWAエレクトロニクス

DOWAエレクトロニクスは9月1日出荷分より、インジウム4N(ITOグレード)の建値を、大口が据え置き4万1,000円、小口も据え置き4万3,000円とした。



2022年8月の山元建値平均

金が20.29円高、銀が1,190円高

金は7,690.19円/g 銀は8万6,910円/kg

2022年8月の金銀山元建値平均価格は、8月の営業日が金山元21日、銀山元19日となり金が前月より20.29円高の7,690.19円、銀は前月より1,190円高の8万6,910円となった。小売の平均価格は、金が前月より24.40円高の8,492.95、銀が前月より2,650円高の9万7,920円。直近6か月の山元建値平均推移は次の通り。(金は1g当たり、銀は1kg当たり)

2022年

□ 3月	金：7,450.82円	銀：9万7,750円
□ 4月	金：7,882.25円	銀：10万1,770円
□ 5月	金：7,658.05円	銀：9万1,830円
□ 6月	金：7,938.72円	銀：9万4,420円
□ 7月	金：7,669.90円	銀：8万5,720円
□ 8月	金：7,690.19円	銀：8万6,910円

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: nikkin202209

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OGIYANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社	大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号 tel:06-6444-1521~1530
東京支社	東京都千代田区神田錦町3丁目15番地 tel:03-5282-4800
名古屋支社	名古屋市中村区名駅3丁目16番22号 tel:052-571-2005
海外	シンガポール・香港・タイ・台湾・ マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

インドネシア：PT Antam、2つの子会社の分社化について株主から承認

2022年8月24日付け現地メディアによると、PT Aneka Tambang (PT Antam) は、北Maluku州東Halmaheraでのニッケル鉱山事業を2つの子会社に分社化する計画について、2022年8月23日、株主から承認を得た。

また、株式買い戻しプログラム開始に伴い、PT Antamは、株主総会で分社化計画に異議を唱えた株主に対して、2022年8月25日までに株式を買い戻すよう要請した。

PT Antamは、2022年7月初めに、東Halmaheraのニッケル採掘事業を2つの完全子会社PT Sumberdaya Arindo及びPT Nusa Karya Arindoに分社化する計画であると発表した。

PT Antamは、この分社化は、同社のニッケル部門の業績向上のために、より最適な資産の開発と管理を行うという同社の取り組みに沿って行われるものであるとしている。

また、ニッケル鉱山の一部事業の分社化は、集中的、競争的、機動的な経営で同社の事業展開を加速させ、事業機会を評価し、国産ニッケル製品の付加価値を高めるための電気自動車(EV)バッテリー産業エコシステムの開発着手など、今後のPT Antamのニッケル事業展開を支援する戦略協力関係を確立するための取り組みとして実施された。

日刊金属

外電配信料
(税込)

6カ月：46,200円

12カ月：92,400円

鉱工業生産・出荷7月

2か月連続の前月比上昇

「一進一退」は据え置き

経済産業省

経済産業省がこのほど発表した2022年7月の鉱工業生産・出荷・在庫動向によると、生産指数(2015年=100、季節調整済み)は97.1、前月比1.0%プラスと2か月連続の上昇となった。電子部品などは低下したものの、部材供給不足の影響が緩和したことなどを受け自動車工業などが上昇した。基調判断は、6月に引き上げた「一進一退」を据え置いた。

4月と5月は中国のロックダウンの影響などから低下したが、解除などをを受けて6月は上昇に転じた。7月は、需要の減少などをを受けて電子部品・デバイス工業などが低下したものの、自動車工業などが全体を支えた。業種別では、全体15業種のうち6業種が前月比上昇、8業種が低下、1業種が横ばいだった。

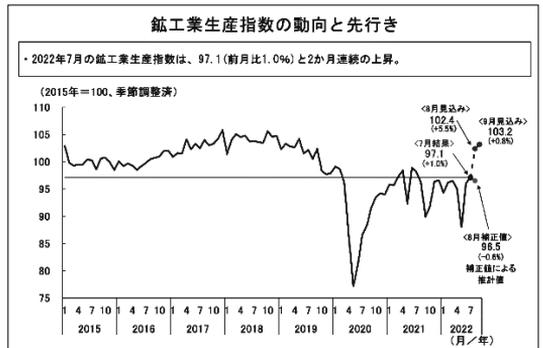
上昇寄与度の最も大きかった自動車工業は、普通乗用車や小型乗用車などが主な上昇要因で、いずれも部材供給不足の影響が緩和したことなどをを受けて上昇した。低下寄与度の大きかった電子部品・デバイス工業は、モス型半導体集積回路(メモリ)などが主な低下要因で、幅広い用途での需要減少などにより低下した。

出荷は、季節調整済指数95.2、前月比プラス1.6%と、こちらも2か月連続の上昇。全体15業種のうち5業種が上昇し、10業種が低下した。出荷も、部材供給不足の影響が緩和したことなどを受け自動車工業などが上昇したことから、全体として上昇した。上昇寄与度の最も大きかった自動車工業は、普通乗用車や普通トラックなどが主な上昇要因となった。

財別出荷指数は、非耐久消費財が前月比1.2%の低

下、建設財が同3.1%の低下、生産財が同0.1%の低下となる一方、資本財(輸送機械除く)が同6.8%の上昇、耐久消費財は同8.0%の上昇。特に、資本財や耐久消費財が、部材供給不足の影響の緩和などを受けて堅調だったことがうかがえる。

先行きは、企業の生産計画では8月と9月はともに上昇となっているものの、8月の補正値は前月比0.6%の低下を見込んでおり、ならしてみると一進一退の状況にあるとみられる。



鉱工業生産指数の動向と先行き

亜鉛くず 現金高価買取
亜鉛ドロス・滓 ご照会どうぞ

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

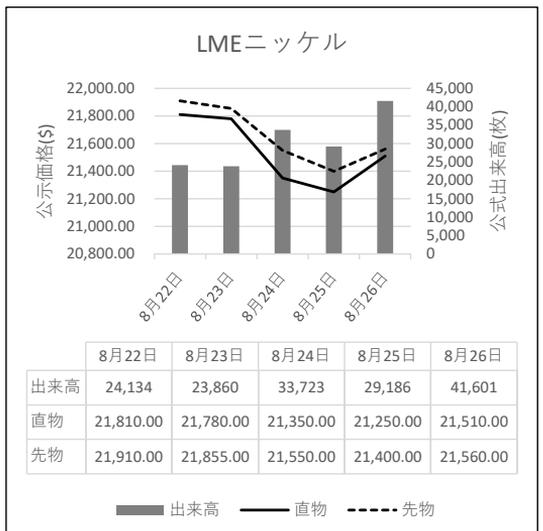
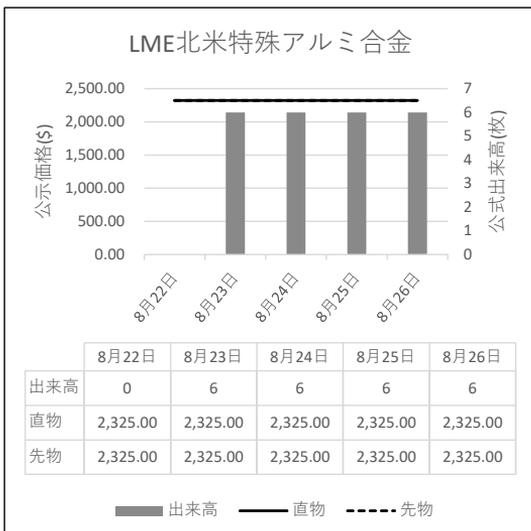
代表取締役 星山 えり

〒 580-0006 松原市大堀 1 丁目 7-30

TEL 0723-31-3945 代表

FAX 0723-31-3974

LME公式値週間推移 8月22日~8月26日(現地)



故銅市況

1日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,910.50ドルより189.50ドル安の7,721.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,893.00ドルより47.50ドル安の7,845.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,876.00ドルより175.00ドル安の7,701.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,864.00ドルより62.50ドル安の7,801.50ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の12月限は、前営業日の355.10セントより3.25セント安の351.85セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万2,370元より430元安の6万1,940元。

1日の東京為替市場TTSレートは、前日の139.63円より0.90円の円安ドル高、1ドル=140.53円。1日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,721.00ドル。この値と1日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の114万2,000より1万9,000円安の112万3,000円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(9月1日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が878~883、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは843~848、並銅は808~818、込銅(高品位=約97%)は798、セバは683~688。コーペルは要り用筋で624、それ以外は609ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋634、それ以外604~614どころの値頃。並青銅削粉は707~712どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が858~878、上銅新くずが823~843、普通上銅が798~818、2号銅線が790~810、並銅が788~808、込銅(94-97%)が736、込銅(90-93%)が738、下銅が407~457、セバが648~683、コーペルが564~609、黄銅棒地が559~604、黄銅削粉が554~599、黄銅ラジが519~527、交叉ラジが459~516、黄銅銅削物463~470、送りが267~286、上青銅削物704~724、並青銅削物684~699、上青銅削物削粉が699~719、並青銅削物削粉が674~694どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (8月後半)

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=111円~225円、ビス付サッシ=77円~86円、エンジンコロ=100円~108円、込合金(機械鋳物)=83円~91円、缶プレス(ソフト)=56円~66円。

関西地区 (8月後半)

2S=197円~200円、63S=200円~235円、印刷版=190円~193円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=144円~148円、機械鋳物=86円~89円、ダライ粉=65円~68円、ビス付サッシ=83円~98円、缶プレス=73円~78円。

この日、電気銅建値は114万円に引き下げられた。

為替動向

8月31日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0060ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0050ドル~1.0060ドルで推移した。この日米ADPが発表した8月の全米雇用リポートで民間雇用者数が前月と比べ13万2,000人増加、市場予想の28万8,000人増を下回った。米国の景気減速が意識されドルが売られた。一方8月のユーロ圏消費者物価指数は市場予想を上回る伸びとなった。9月のECB理事会では0.75%の利上げが意識されユーロ相場を支えた。

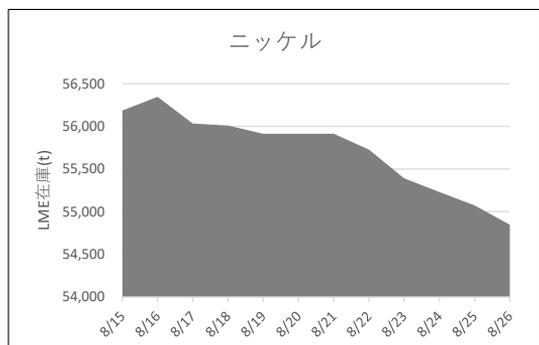
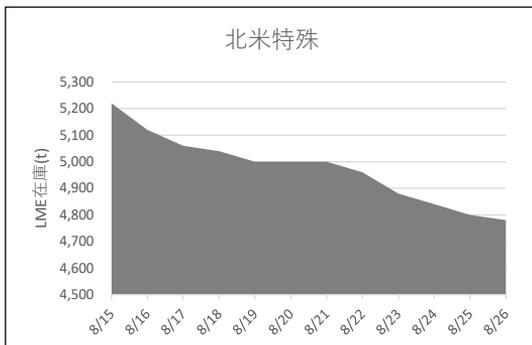
8月31日のニューヨーク外国為替市場で円相場は4営業日の続落となった。前日と比べ0.15円の円安ドル高、1ドル=138.90円~139.00円で取引を終えた。

この日、クリーブランド連銀のマスター総裁が講演の中で「(政策金利は)来年の早い時期までに4%よりやや高い水準に引き上げが必要」と、現状の2.25%~2.5%を大きく上回る利上げを示唆。FRBによる金融引き締めが長期化すると観測から円売りドル買いの優勢が続いた。

1日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.68円の円安ドル高、1ドル=139.26円~139.28円で推移した。FRB高官から金融引き締めに積極的な発言が相次ぎ、日米の金利差拡大を見込んだ円売りドル買いを促した。

円は対ユーロでも大きく下落。1.22円の円安ユーロ高、1ユーロ=139.84円~139.87円で推移した。

LME認定倉庫在庫推移 8月15日~8月26日(現地)





LME銅相場は続落、約7%安 直物終値は7,845.50ドル
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落
 LME非鉄相場は全面安 中国経済の先行き不安で需要の減退を意識



1日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、8月31日入電の7,910.50ドルより189.50ドル安の7,721.00ドル。2営業日の続落で7.14%安。この週7.14%の下落。8月は月間で1.02%の下落。3か月物の前場売値は、8月31日入電の7,876.00ドルより175.00ドル安の7,701.00ドル。2営業日の続落で7.00%安。この週7.00%の下落。8月は月間で1.17%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地8月30日の12万1,000トンより2,500トン減の11万8,500トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、9月限が、8月31日入電の354.50セントより2.65セント安の351.85セント。3営業日の続落で5.20%安。この週5.20%の下落。8月は月間で1.83%の下落。10月限は、8月31日入電の354.95セントより3.05セント安の351.90セント。4営業日の続落で4.87%安。この週4.81%の下落。8月は月間で1.53%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、9月限が、8月31日入電の6万2,810元より340元安の6万2,470元。3営業日の続落で1.98%安。この週1.98%の下落。8月は月間で4.69%の上伸。中心限月に当たる10月限は、8月31日入電の6万2,370元より430元安の6万1,940元。2営業日の続落で2.27%安。この週2.21%の下落。8月は月間で4.28%の上伸。

錫も続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、8月31日入電の2万3,775.00ドルより175.00ドル安の2万3,600.00ドル。3営業日の続落で3.48%安。この週3.48%の下落。8月は月間で3.30%の下落。3か月物の前場売値は、8月31日入電の2万3,605.00ドルより580.00ドル安の2万3,025.00ドル。2営業日の続落で5.25%安。この週5.25%の下落。8月は月間で5.25%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地8月30日の4,410トンより110トン増の4,520トン。

鉛も続落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、8月31日入電の1,979.00ドルより29.00ドル安の1,950.00ドル。2営業日の続落で2.38%安。この週2.38%の下落。8月は月間で3.61%の下落。3か月物の前場売値は、8月31日入電の1,980.00ドルより30.00ドル安の1,950.00ドル。3営業日の続落で2.35%安。この週2.35%の下落。8月は月間で3.66%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地8月30日の3万7,525トンよりトン減の3万7,525トン。

亜鉛も続落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、8月31日入電の3,592.00ドルより52.00ドル安の3,540.00ドル。2営業日の続落で3.75%安。この週3.75%の下落。8月は月間で5.64%の上伸。3か月物の前場売値は、8月31日入電の3,500.00ドルより45.00ドル安の3,455.00ドル。2営業日の続落で3.97%安。この週3.97%の下落。8月は月間で5.92%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地8月30日の7万6,975トンより75トン増の7万7,050トン。

アルミも続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊は下落

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、8月31日入電の2,406.50ドルより38.00ドル安の2,368.50ドル。2営業日の続落で5.07%安。この週5.07%の下落。8月は月間で3.41%の下落。3か月物の前場売値は、8月31日入電の2,405.00ドルより48.00ドル安の2,357.00ドル。2営業日の続落で5.17%安。この週5.17%の下落。8月は月間で3.32%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地8月30日の28万0,475トンより万3,425トン減の27万7,050トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、8月31日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。8月は月間で横ばい。3か月物の前場売値は、8月31日入電より横ばいの1,760.00ドル。この週横ばい。8月は月間で横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、8月31日入電の2,325.00ドルより2.00ドル安の2,323.00ドル。下落して0.09%安。この週0.09%の下落。8月は月間で3.05%の下落。3か月物の前場売値は、8月31日入電の2,325.00ドルより10.00ドル安の2,315.00ドル。下落して0.43%安。この週0.43%の下落。8月は月間で3.34%の下落。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、8月31日入電の2万1,385.00ドルより130.00ドル安の2万1,255.00ドル。2営業日の続落で1.19%安。この週1.19%の下落。8月は月間で3.61%の下落。3か月物の前場売値は、8月31日入電の2万1,425.00ドルより105.00ドル安の2万1,320.00ドル。2営業日の続落で1.11%安。この週1.11%の下落。8月は月間で3.20%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地8月30日の5万4,576トンより36トン増の5万4,612トン。

LME公示価格(US\$)／8月31日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,721.00	23,600.00	1,950.00	3,540.00	2,368.50	1,760.00	2,323.00	21,255.00
	前営業日比	▲ 189.50	▲ 175.00	▲ 29.00	▲ 52.00	▲ 38.00	0.00	▲ 2.00	▲ 130.00
先物	公示価格	7,701.00	23,025.00	1,950.00	3,455.00	2,357.00	1,760.00	2,315.00	21,320.00
	前営業日比	▲ 175.00	▲ 580.00	▲ 30.00	▲ 45.00	▲ 48.00	0.00	▲ 10.00	▲ 105.00

海外非鉄金属相場

(9月1日 入電・現地 8月31日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table for NY Comex prices with columns for metal types (銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム) and rows for 9-month, 10-month, 11-month, 12-month, and 1-month limits.

採算価格
プレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for calculation prices (採算価格) with columns for metal types and rows for current prices and changes.

フリー・マーケット

■米国生産者価格(地金)

Table for US producer prices with rows for silver (EH社, HH社) and prices in dollars.

■NY相場

Table for NY market prices with rows for copper and nickel prices in dollars.

■ロンドン相場(ドル)

Table for London market prices with rows for various metals like gold, antimony, bismuth, cadmium, etc.

■KLTM錫(MYR/KG、出来高トン)

Table for KLTM tin prices with columns for current price and high price, and rows for exchange rates.

■LME在庫(トン)

Table for LME inventory with columns for current inventory and change, and rows for copper, tin, lead, zinc, etc.

■上海在庫(トン)

Table for Shanghai inventory with columns for current inventory and change, and rows for copper, aluminum, zinc, lead, etc.

■LMEプレマーケット(ドル)

Table for LME pre-market prices with columns for current price and high price, and rows for copper, tin, lead, zinc, etc.

■上海相場

Table for Shanghai market prices with columns for metal types and rows for 9-month, 10-month, and current prices.

※1日のKLTMは取引がありません。

Table for COMEX and Shanghai prices with columns for metal types and rows for current prices and changes.

非鉄金属製品相場

(9月1日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◆1450	◆1385	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◆1500	◆1435	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	◆1580	◆1585	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	◆1540	◆1585	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	◆1450	◆1495	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	◆1360	◆1355	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◆1415	◆1400	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	◆1440	◆1415	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	◆1370	◆1355	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	◆1640	◆1585	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◆1225	◆1205	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	◆1255	◆1235	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	◆1375	◆1385	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	◆1640	◆1690	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	◆1610	◆1660	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	◆1000	◆1030	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	◆1030	◆1060	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	◆1060	◆1090	白金(グラム)		◆4233	4C×2 168-172
鍛造用	◆1040	◆1070	パラジウム(グラム)		◎10461	6C×2 237-243
ネーパル	◆1140	◆1170	金(グラム)		◆8476	7C×2 271-278
高力	◆1140	◆1170	銀(キログラム)		◆91410	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◆1400	◆1390	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 274
黄銅平角線ロール仕上	◆1600	◆1600	金属ケイ素(99.99%未満)	470		〃 その他 367.2
黄銅条1.5×100	◆1220	◆1225	モリブデン酸化物	3929		フェロシリコン55%以上 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	2520	2710	タンタル	62949		フェロクロム4%以上炭素含有 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	2770	2970	マグネシウム	574		フェロモリブデン純分60%以上 4007
リン青銅棒25ミリ	2680	2890	コバルト	11130		フェロバナジウム 4218
リン青銅線3ミリ	2980	3190	インジウム	29633		フェロニッケル33%未満 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	3530	3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3700	3860				

減摩合金	9月1日改定	銅合金地金	8月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4525	BC 1種	1210
2種	4400	2種	1530
3種	4270	3種	1615
4種	3760	6種	1295
5種	3595	7種	1425
7種	1320	YBSC 3種	1085
8種	1165	LBC 3種	1560
9種	995	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(9月1日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)		
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地	金	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	山元建値	電気銅	
1 号 銅 線	◆1026	◆1025	電 気 銅	◆1095	◆1090	◆1097	1140(1)	金	7,678(1)
2 号 銅 線	◆984	—	電 気 亜 鉛	◆518	◆512	◆518	336(1)	銀	81,340(1)
上 銅 (新 切)	◆997	◆992	蒸 留 亜 鉛	◆506	◆500	◆506	547(1)	錫(99.99%)	4,700(1)
雑 ナ ゲ ッ ト	◆856	◆856	再 生 ダイカスト亜鉛2種	◆437	◆431	◆437			
並 銅	◆939	◆921	再 生 亜 鉛 (98%)	◆380	◆374	◆380			
下 銅	◆920	◆892	電 気 鉛	◆308	◆305	◆308			
銅 削 粉	◆914	◆895	再 生 鉛 1 号	◆291	◆281	◆289			
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	◆296	◆292	◆294			
新 切 黄 銅 セ バ	◆809	◆805	錫 1 号	3600	3550	3600			
コ ー ペ ル	◆776	◆763	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950			
黄 銅 棒 地	◆760	◆751	ニ ッケル(メッキ用)	3150	3100	3150			
黄 銅 削 粉	◆754	◆747	コ バ ル ト	◎8500	◎8200	◎8500			
並 黄 銅	◆595	◆601	セ レ ニ ウ ム	2900	2700	2900			
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	◆577	◆561	ビ ス マ ス	1350	1250	1350			
交 叉 ラ ジ エ タ ー	◆543	◆552	カ ド ミ ウ ム	600	550	600			
黄 銅 鑄 物	◆600	—	マ グネシウム合金	500	480	500			
山 送 り (55%)	355	—	ア ルミ地金 99.70 %	◆377	◆373	◆379			
上 青 銅 鑄 物	◆799	—	ア ルミ二次地金 99 %	305	300	305			
並 青 銅 鑄 物	◆797	◆778	〃 90 %	263	258	263			
上 青 銅 鑄 物 削 粉	◆792	—	ア ルミ二次合金ADC12	417	412	420			
並 青 銅 鑄 物 削 粉	◆782	◆766	鑄 物 用 C2BS	442	437	444			
新 切 リン青銅(伸銅)	—	◆1025	青 銅 合 金 地 金 3 種	◆1570	◆1560	◆1620			
〃 (鑄 物)	◆913	—	〃 6種	◆1270	◆1260	◆1310			
リ ン 青 銅 削 粉	◆831	◆814	ハ ン ダ 錫 60 %	3010	2970	3030			
新 切 洋 白 (電 子 材)	◆843	◆821	〃 50 %	2600	2550	2620			
新 切 亜 鉛	◆273	◆273	〃 40 %	2250	2190	2205			
ダ イカストくず	◆238	◆238	減 摩 合 金 2 種	4370	4340	4375			
亜 鉛 ド ロ ス	◆216	◆227	〃 4 種	3715	3690	3720			
上 鉛	◆140	◆138	〃 7 種	1250	1200	1250			
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	25	25	ス テンレ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		75		75	
活 字 鉛	◆125	◆122		〃 ダライ粉		60		60	
新 切 ア ル ミ 1 級	237	239		高耐食ステンレスSUS316		210		210	
新 切 サ ッ シ 1 級	237	237		耐熱ステンレスSUS310		365		365	
新 切 合 金 1 級	222	217		13クローム 新切		17		24	
機 械 鑄 物 1 級	150	155		ハ イ ス 9種		220		220	
ピ ス 付 サ ッ シ P	173	170							
合 金 削 粉 P	95	100							
込 ガ ラ P	90	92							
カ ン ・ バ ラ	160	161							

非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202209